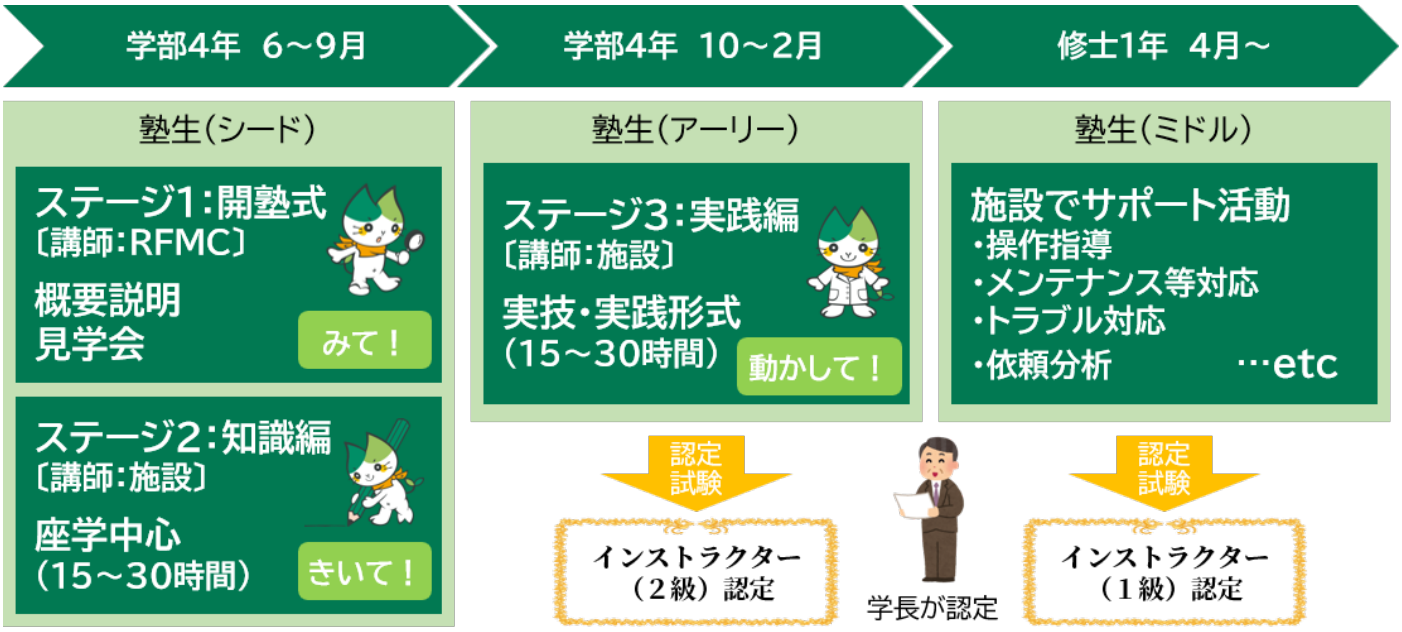
リサファシ通信

第 3 号
2024.11.28 発行

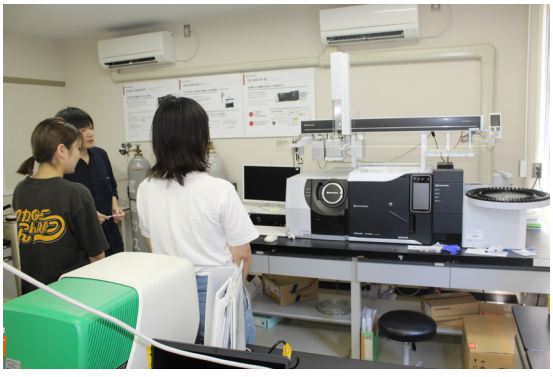
研究機器インストラクターの養成がはじまりました

リサーチファシリティマネジメントセンターでは、今年度から吉田キャンパスで「研究機器インストラクター」の養成を始めています。6 月 14 日(金)に3名の塾生を迎えた後、塾生は希望する総合科学実験センターの施設において、教員や技術職員等の指導を受けながら、知識の習得に努めています。10月からは実践編へとステージが進みました。

リサーチファシリティマネジメントセンターでは、塾生が全学共用機器を利用する研究者等のサポートができる人材となれるようサポートを続けることとしています。



※研究機器インストラクター養成塾について:希望する本学の学部学生及び大学院生を対象に、総合科学実験センターの施設において、教員や技術職員等の指導の下、全学共用機器を利用する研究者等のサポートができる人材として養成しようというものです。



発行者・問合せ先: 山口大学リサーチファシリティマネジメントセンター https://www.yamaguchi-u.ac.jp/facility/
TEL:083-933-5258 E-mail:sh082@yamaguchi-u.ac.jp

論文投稿等における謝辞記載のお願い

文部科学省より、研究開発関連の各事業と論文を適切に紐づけて研究成果・研究動向等との関係を明らかにし、エビデンスベースの各事業/各機関の評価や政策立案等の参考の一つとして活用するため、研究費ごとに体系的番号を付与するとともに、論文の謝辞や論文投稿時において体系的番号を記載するよう周知依頼がありました。

山口大学では、現在文部科学省の令和 2 年度「先端研究基盤共用促進事業（コアファシリティ構築支援プログラム）」の支援を受けており、本学全学共用機器を利用した成果を研究論文等で発表される際には、山口大学の課題番号「JPMXS04404000XX」を記載いただくようお願いいたします（末尾の XX は機器利用年の西暦下二桁（2024 年利用の場合→24）。

事業成果である研究論文等に謝辞を記載いただくことは、事業や山口大学の成果・評価につながります。皆様のご協力、よろしくお願いいたします。

具体的な例文は当センターHP に記載しております。

https://www.yamaguchi-u.ac.jp/facility/acknowledgments/

研究基盤 EXPO2025の開催について

研究基盤に関わる多様なステークホルダーによるイベントを集約し、効果的に情報発信・情報収集する場として、2021年1月より毎年開催されている研究基盤 EXPO（主催：一般社団法人　研究基盤協議会）が、今年度は、2025年1月23日（木）～1月29日（水）まで、開催される予定です。

このイベントは、2023年に山口大学が引受校として、山口市を主会場に開催されており、今回は、リサーチファシリティマネジメントセンターが毎年学内で開催している「共用機器利用促進イベント」をこの EXPO に参画という形での開催を予定しております。

テーマや発表者等決まりましたら、改めてホームページ等を通じてお知らせします。

多くの教職員の皆様のご参加をお待ちしております。

機器有効活用マッチング制度について

「機器有効活用マッチング制度」とは、各施設や研究室等で使用されていない、または今後使用する予定がなくなる研究設備・機器をご提供いただき、譲り受けを希望される方に仲介するという制度です。

各施設や研究室等で使用されていない、または今後使用する予定がなくなる研究設備・機器等がございましたら、ご提供くださるようご協力をお願いいたします。

https://www.yamaguchi-u.ac.jp/facility/matching/